

♪ 3歳児の遊びの様子 ♪

“名もない遊び”

名前もつかないような大人から見たら遊びとも言えないような“遊び”が愛育幼稚園の3歳児にはたくさん！

おもしろい、不思議だな、気持ちいい！楽しくってやめられない♪

3歳児の今しか楽しめない感覚や楽しみ方！

夢中になれるってすごいこと！

驚きも喜びも発見も興味・関心の広がりも……

名もない遊びにはあふれています！



“どろどろ♪べたべた♪♪”

砂や、泥、絵の具や、水、いろいろな感触を感じながらたっぶり楽しんで、心もからだも開放されていく。五感を使って感性が養われたり、様々なモノの性質がわかることにつながったりします。



“自然との出会い” 大人気のダンゴムシ♪

ゆりぐみのお兄さんがとってカップに入れてくれました！
「（勇気を出して触ってみたら…）クルンってなったよ！」

“見立てて遊ぶ♪いろいろな素材や道具との出会い”

大好きな電車ごっこ。よく見ると……運転席においてあるのは、ままごと用のコンロに“逆さ”に置いたお鍋とフライパン！
それが、ぼくにとってのハンドル♪ 左右に回して「出発進行～！」
大人には思いつかない遊び方、楽しみ方がいっぱい！



“友だちとの出会い”

一人で黙々と、近くで遊んでいるけれどしていることはそれぞれ、その場で出会って触れあったり遊んだりするのが、3歳児にとってあそびや友だちです。「友だち作らなきゃ！」って焦らなくて大丈夫！
大好きな遊びを通して、自然に友だちと出会っていきます。

かばさんの歯磨き



ジョウロからこぼれた水が広がって、大きな池に！
何だか楽しそう♪
一見、一緒に遊んでいるようですが、よ〜く見ると、
楽しんでいることはそれぞれ違います♪



“みんなで……♪♪”

人と一緒に嬉しい！楽しい！という気持ちを基に、みんなで過ごすことの楽しさも次第に感じられるようになっていきます。



オオカミとコブタに変身して追いかけて。みんなで走るのって楽しいな♪途中で転んじゃったら、〇〇くんが頭なでなでしてくれたんだよ！！

みんなで食べると
おいしいね！！



ぐちゃぐちゃだって大事な経験！！

ぐちゃぐちゃの時期をたっぷり経験し、自分の思いをいろいろな形で表現し、受け止められることで、たくさんの力を蓄えていきます。自然とそこから少しずつ周りに目が向くようになるのです。



今日も楽しく遊んでいるから、
ぐちゃぐちゃ

音楽に合わせて、動くと、
楽しい♪ 思い思いに動いて
表現しているから、なんだか
ぐちゃぐちゃ。



家庭から離れて、最初の一步の3歳児。これが好き！こうしたい！これはイヤ！こう思う！など安心して自分を出せることが何より大切です。そのためには、まず大人がありのままのその子を受け止めていくこと、その温かい受け止めが、その子の“このままの自分がいいんだ”という肯定感や安心感を育てていきます。家庭だけでなく、幼稚園もそんな場所になっていくように、子どもの世界、遊び、ペースを大事にできる時間、場所、眼差しのあふれた場でありたい！愛育幼稚園では、子どもだけでなく、保護者の方との関わりも大切に考えています。いろいろな発見、驚き、感動、時には悩みを保護者の方と共有しながら一緒に子どもの成長を見守りたいと思います。